

【壬生町デジタル田園都市国家構想総合戦略 効果検証シート】

※「壬生町デジタル田園都市国家構想総合戦略」のKPIを記載しておりますので、冊子と併せて御確認してください。

基本目標Ⅰ：壬生町における安定した雇用を創出する

数値目標	総合政策課	基準値 (R2)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)	R8進捗度
就業者数（国勢調査）		20,136人						20,577人	未評価

○戦略プロジェクトⅠ-①：産業の振興と雇用の創出

重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	基準値 (R5)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R8～R12までの累計)	R8進捗度
産業振興奨励金交付企業数		4社						22社	順調に推移
実績値の分析・評価	今年度からの計画のため R8進捗度のみの記載です。								
今後の取組み									

○戦略プロジェクトⅠ-②：農商工業連携による町の活性化

KPI	農政課	基準値 (R5)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)	R8進捗度
6次産業事業者数		8事業者						10事業者	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
KPI	総合政策課	基準値 (R5)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R8～R12までの累計)	R8進捗度
ふるさと応援寄附件数		3591件						5000件	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクトⅠ-③：地域産業を守る後継者の育成

KPI	農政課	基準値 (R5)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R8～R12までの累計)	R8進捗度
新規就農者数		3人						20人	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

基本目標 2：壬生町への新しい人の流れをつくる

数値目標	商工観光課 住民課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
観光客人込数		320.0万人						5%増加 (336万人)	未評価
社会増減数（住民基本台帳）		107人						5%増加 (113人)	順調に推移

○戦略プロジェクト2-①：タウンプロモーションによる移住定住促進

K P I	総合政策課	基準値 (R 6)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 8～R 1 2までの累計)	R8進捗度
移住支援金による移住者数		5人						40人	努力が必要
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	総合政策課	基準値 (R 6)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
移住フェア相談件数		12件						20件	努力が必要
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクト2-②：壬力ある観光・交流の促進

K P I	商工観光課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
「みぶハイウエーパークみらい館」来訪者数		192.0万人						230.0万人	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	商工観光課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
おもちゃ博物館年間入館者数		246,379人						284,000人	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクト2-③：郷土愛の醸成と壬力発信によるUIターン促進

K P I	生涯学習課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
中学生等地域活動参加人数 (延べ人数)		457人						450人	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

基本目標 3：壬生町で結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	こども未来課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
合計特殊出生率		0.98						1.40	努力が必要

※令和7年度の数値が公表されていないため未評価

○戦略プロジェクト3-①：すくすく安心の子育て支援

K P I	こども未来課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
放課後児童クラブ利用者率		38%						44%	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	こども未来課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
保育園等の利用率		75.6%						80.9%	努力が必要
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	こども未来課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
子育て支援アプリ「ミコナ」の会員数		300人						1,150人	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクト3-②：素敵な出会い支援と結婚観の向上

K P I	住民課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
婚姻数(人口動態調査)		118件						120件	未評価
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクト3-③：ワーク・ライフ・バランスの推進

K P I	商工観光課	基準値 (R 6)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R8進捗度
「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」宣言企業・事業者数		17件						25件	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

基本目標 4：新たな技術を活用して壬生町で安心して暮らし続ける

数値目標	総合政策課	基準値 (R 6)	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値 (R 12)	R8進捗度
デジタルデバйд対策講座の実施回数		4 回						8 回	達成見込

○戦略プロジェクト4-①：安全で利便性の高いまちづくり

K P I	総務課	基準値 (R 6)	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値 (R 12)	R8進捗度
自主防災組織数		39団体						49団体	努力が必要
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	都市計画課	基準値 (R 6)	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値 (R 12)	R8進捗度
デマンドタクシー「みぶまる」の年間利用者数		7,048人						10,000人	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクト4-②：活き活きと町民が躍動するまちづくり

K P I	生活環境課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値 (R 12)	R8進捗度
町民活動センター「みぶりん」登録団体数		334団体						400団体	達成見込
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクト4-③：健康長寿のまちづくり

K P I	住民課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値 (R 12)	R8進捗度
特定健診受診率		35.6%						52.5%	努力が必要
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

○戦略プロジェクト4-④：デジタル基盤の活用によるまちづくり

K P I	住民課	基準値 (R 5)	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	目標値 (R 12)	R8進捗度
マイナンバーカードによる証明書コンビニ交付件数		8,522件						9,000件	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

【壬生町国土強靱化地域計画(第2期)効果検証シート（令和8年度事業）】

※「壬生町国土強靱化地域計画(第2期)」のKPIを記載しておりますので、冊子と併せて御確認してください。

目標Ⅰ：あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ

重要業績評価指標 (以下、KPI)	総務課	基準値 (R7)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)	R8進捗度
自主防災組織の整備率		48.8%						61.3%	順調に推移
実績値の分析・評価		今年度からの計画のため R8進捗度のみの記載です。							
今後の取組み									
KPI	建設課	基準値 (R7)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)	R8進捗度
空家除却数		16棟						53棟	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
KPI	総務課	基準値 (R7)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)	R8進捗度
消防団定員充足率		84.7%						100%	努力が必要
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
KPI	都市計画課	基準値 (R6)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)	R8進捗度
住宅の耐震化率		92.3%						100.0%	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
KPI	総務課	基準値 (R7)	R8	R9	R10	R11	R12	目標値 (R12)	R8進捗度
防災メール登録者数		3,000人						4,000人	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

目標2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

K P I	建設課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
重要物流道路整備率		76.3%						100%	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	総務課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
消防センター耐震化整備率		100%						100%(維持)	達成見込
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	総務課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
一時避難に関する協定数		2件						3件	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	総務課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
災害対応訓練実施状況		2回						2回	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

目標３：必要不可欠な行政機能は確保する

K P I	総務課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8進捗度
災害対策本部非常用電源機能整備		新庁舎移転時に 整備済(維持)						整備済(維持)	達成見込
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	総務課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8進捗度
災害対策本部訓練実施回数		1回						1回	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

目標４：経済活動を機能不全に陥らせない

K P I	商工観光課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8進捗度
BCP策定セミナー情報提供数 (累計)		3回						15回	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	農政課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8進捗度
水田整備率		48.3%						60.7%	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	農政課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8進捗度
多面的機能支払交付金活動面積		849ha						877ha	順調に推移
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

目標５：情報通信機能・情報サービス、ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

K P I	水道課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
管路の耐震化		7,718m						8,404m	努力が必要
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	水道課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
配水場の耐震化		1箇所						2箇所	達成見込
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	総務課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
情報通信施設の非常用発電機配備率		100%						100%	達成見込
実績値の分析・評価									
今後の取組み									
K P I	総務課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
避難所用非常用発電機設置箇所数		100% (15箇所)						100% (維持)	達成見込
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

目標６：社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

K P I	生活環境課	基準値 (R 7)	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	目標値 (R 1 2)	R 8 進捗度
災害廃棄物処理計画策定状況		策定済						策定済(見直しや改訂による維持)	達成見込
実績値の分析・評価									
今後の取組み									

【デジタル田園都市国家構想推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：Mibu Love Active ～道の駅から始まるいちごとおもちゃのまちづくり～

事業概要：○壬生町の魅力をより具体的に整理し、顧客を惹きつける地域資源を活かしたリニューアルオープン後の目玉商品（いちご・おもちゃ関連）を地域一丸となって作りあげる。
○施設利用者の滞在時間を表すデータを取得することで、効果的に「道の駅みぶ」の魅力につなげることができているのか把握する。
○地域が望む施設の経営方針を盛り込んだ施設経営マニュアル等を作成し、施設経営の安定化を図る。

実施内容 魅力の商品化への支援
人流データ取得・分析
施設経営マニュアル等作成

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課		事業開始前 (R4.3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（増加分累計） (R10.3)	R8進捗度
みぶハイウェーパーク施設利用者数		目標値	-	120,000人	150,000人	440,902人	120,000人	100,000人	930,902人	順調に推移
		実績値	1,489,198人	159,482人	22,257人	286,080人				
実績値の分析・評価			令和6年度は整備工事の影響により利用者数が減少したが、整備後は「いちご」と「おもちゃ」をテーマとした施設や商品の展開により施設の魅力が向上し、利用者数の大幅な増加につながった。施設整備の効果が十分に発揮されたものと評価できる。							
今後の取組み			町の魅力発信の拠点として、日本一広い道の駅を構成する4施設のそれぞれの強みを活かし、ハイウェーパーク施設利用者の増につなげるようつなげていきたい。							
KPI	商工観光課		事業開始前 (R4.3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（増加分累計） (R10.3)	R8進捗度
みぶハイウェーパーク売上高		目標値	-	30,000千円	25,000千円	323,824千円	60,000千円	22,000千円	460,824千円	順調に推移
		実績値	442,989千円	262,457千円	50,207千円	439,607千円				
実績値の分析・評価			壬生町の強みである「いちご」と「おもちゃ」に特化した商品展開や情報発信により施設の魅力が向上し、来訪者の購買意欲の向上につながった。その結果、売上高は大幅に増加し、施設整備による効果が認められる。							
今後の取組み			Mibu FRAiSで地元壬生産の生いちごをふんだんに使用したクレープの販売がはじまっているほか、リニューアルにより道の駅を訪れた人の動線を店舗エリアに向くことになることから、各店舗において壬生らしい魅力ある商品等の販売してもらうとともに、道の駅のPRを積極的に行っていきたい。							
KPI	商工観光課		事業開始前 (R4.3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（増加分累計） (R10.3)	R8進捗度
みぶハイウェーパークリピーター率		目標値	-	0.13%	0.82%	0.83%	0.85%	0.82%	3.45%	努力が必要
		実績値	26.0%	0.63%	3.35%	-4.88%				
実績値の分析・評価			改修・新築工事等が重なった影響により、リピーター率が減少したと考えられる。							
今後の取組み			道の駅みぶのマーケティング戦略や施設コンセプトに基づき、看板商品（Product）、過ごしたくなる空間（Place）、価格以上の価値（Price）、心動く情報（Promotion）を展開していくことにより、道の駅を通過点ではなく、目的地としての存在価値を高めていく。							
KPI	商工観光課		事業開始前 (R4.3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値（増加分累計） (R10.3)	R8進捗度
いちごの生産面積		目標値	-	0.00ha	2.20ha	3.20ha	4.30ha	3.30ha	13.00ha	未評価
		実績値	37.00ha	-	-	-				
実績値の分析・評価			※国の統計情報である「農林業センサス」（令和7年2月実施）の結果公表を基に推計を行う市町村別農業産出額は、推計中のため、未評価							
今後の取組み			町の地域資源としての「いちご」の一層の生産、生産面積を増やす意味でも、いちごを使った商品開発・販売、ブランディング等による「壬生」＝「いちご」のブランドイメージをさらに構築していくことによりいちご生産に付加価値、生産者の収入増となるよう、農商工連携にも引き続き力を入れていきたい。							

【デジタル田園都市国家構想推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：Mibu Love Active ～ 道の駅から始まる La chic ～

事業概要：「みぶハイウェーパーク」全施設の活性化に向けて、以下の整備により「道の駅みぶ」全体が目的地として認知される環境を構築します。

- 【継続的な魅力商品の開発のための加工所の整備】
- ・スイーツ等が製造できる菓子工房やお弁当やお惣菜等が製造できる調理室、農産物の出荷前の加工や滅菌処理及び冷凍保存ができる農産物加工室の整備。
- 【運営主体となる第三セクター事務所の整備】
- 【トイレの再整備による「みぶハイウェーパーク」施設内を魅せる動線の整備】
- 【各施設間の周遊性の更なる向上】
- ・デジタルサイネージなどを配置することにより、各施設間の周遊性の向上を図ります。

実施内容 商品の開発のための加工所の整備
第三セクター事務所の整備
トイレの再整備による「みぶハイウェーパーク」施設内を魅せる動線の整備

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課		事業開始前 (R5.3)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値（増加分累計） (R11.3)	R8進捗度
地域における農林水産出荷額		目標値	-	17,011千円	126,548千円	277,295千円	21,489千円	358,731千円	32,896千円	833,970千円	未評価
		実績値	5,290千円	-	-						
実績値の分析・評価			※国の統計情報である「農林業センサス」の結果公表（7年2月実施）がされていないため未評価								
今後の取組み			道の駅において、いちごをはじめ町内産の農産物を利用したオリジナル商品の販売や、壬生らしい農産物の販売により、町内の農業出荷について相乗的に上げることに寄与できるよう道の駅の運営帯とともに取り組んでいく。								
KPI	商工観光課		事業開始前 (R5.3)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値（増加分累計） (R11.3)	R8進捗度
みぶハイウェーパークの施設 利用者数		目標値	-	108,211人	300,000人	67,000人	69,000人	71,000人	75,000人	690,211人	順調に推移
		実績値	1,791,789人	22,257人	142,971人						
実績値の分析・評価			施設整備により「道の駅みぶ」の魅力向上と目的地化が進み、施設利用者数は大幅に増加した。物販・飲食機能の充実や情報発信の強化、施設間の周遊性向上が利用者の増加につながったものと評価できる。								
今後の取組み			町の魅力発信の拠点として、日本一広い道の駅を構成する4施設のそれぞれの強みを活かし、ハイウェーパーク施設利用者の増につなげるようつなげていきたい。								
KPI	商工観光課		事業開始前 (R5.3)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値（増加分累計） (R11.3)	R8進捗度
みぶハイウェーパークで販売する オリジナル商品の種類		目標値	-	2品	5品	2品	5品	5品	4品	23品	順調に推移
		実績値	4品	4品	10品						
実績値の分析・評価			新たにオープンしたMibu FRAiSEで壬生産いちごを使用したクレープの提供がはじまるなどしており、オリジナル商品の品数を増やしていただけるものと考えている。								
今後の取組み			「Mibu FRAiSE」での壬生産いちごを使用したクレープの提供や、加工所を活用したスイーツ開発・販売を推進し、オリジナル商品の拡充を図るとともに、壬生の魅力を発信・PRし、町内経済の活性化につなげていく。								
KPI	商工観光課		事業開始前 (R5.3)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	目標値（増加分累計） (R11.3)	R8進捗度
みぶハイウェーパーク商業施設 の立ち寄り割合		目標値	-	0.0%	0.5%	1.5%	2.5%	2.5%	2.0%	9.0%	努力が必要
		実績値	35.0%	-0.05%	0.04%						
実績値の分析・評価			R6が34.5%、R7が34.9% となっている。R7は684,020人(ショップのレジ通過人数) ÷ 1,957,017人(ハイウェーパーク施設利用者数) で立ち寄り率を算出しているが、レジ通過者は家族数名で立ち寄って買い物をして1名分しか計上されないため、立ち寄り割合が実際より低く算出されてしまっている可能性がある。								
今後の取組み			整備した施設を活用した商品開発やイベント開催、情報発信の充実を図り、みぶハイウェーパークを通過型の立ち寄りスポットではなく、道の駅や各施設を目的として訪れる目的地型施設として定着させることで、商業施設の利用促進を図る。								

【デジタル田園都市国家構想推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：稼ぐ力と地域の賑わいを創出するための拠点施設整備事業

事業概要：○公共機能エリア

旧庁舎の会議室棟であった「ひばり館」を下記の内容によりリノベーションし、本町の創業支援、地域住民の交流促進に資するエリアとして整備する。これにより、壬生町内に新しい仕事・町民活動を生み出し、相乗的に本町の魅力を向上させる。

○ひばり館リノベーション

- ・6か月（1回更新、最長1年）で出店できるチャレンジショップを整備し、気軽に多様な業種がチャレンジ出来る環境を提供する。
- ・町民活動支援センターみぶりを移転し、多くの住民が気軽に立ち寄れる施設とする
- ・イベント等を実施できる広場を整備し、チャレンジショップOB・OGによるキッチンカー出店者やみぶりん登録団体による屋外イベントの開催等、多目的に活用できる場とする。

実施内容 チャレンジショップの整備
町民活動支援センターみぶりの移転
イベント広場の整備

※実施事業の効果検証のため下記K P I を設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	住民課		事業開始前 (R5.3)	R 6	R7	R 8	R 9	R10	目標値（増加分累計） (R 10.3)	R8進捗度		
地域の人口・世帯数		目標値		38,479人	38,509人	38,549人	38,599人	38,649人	38,649人（170人）	努力が必要		
		実績値	38,479人	37,987人	37,934人							
実績値の分析・評価		人口に関しては全国的な傾向と同様に壬生町でも減少傾向にある。要因として、出生率の低下や婚姻数の減少、高齢化の進行が考えられる。また、進学や就職を機に都市部へ転出し、地元にとどまらないケースも想定される。										
今後の取組み		旧庁舎跡地において、雇用機会の創出としてのチャレンジショップや地域住民の交流の場を整備することで、地域の活性化につなげる。また、イベント広場の整備を行い、定期的なイベントの実施やキッチンカーの出店などによる魅力のある地域づくりを推進して、本地区への転入増につなげたい。										
K P I	生活環境課		事業開始前 (R5.3)	R 6	R7	R 8	R 9	R10	目標値（増加分累計） (R 10.3)	R8進捗度		
みぶりんを活用した新規団体立ち上げ数（累計）		目標値		8団体	18団体	38団体	63団体	88団体	88団体（80団体）	努力が必要		
		実績値	8団体	5団体	8団体							
実績値の分析・評価		みぶりんによる各機関や団体への積極的な関わりにより、登録団体数は年々増加しており、今後も協働のまちづくり推進拠点としての役割を高め、機能強化を図っていきたい。										
今後の取組み		登録団体の活動状況などの情報発信、活躍の場の情報収集の方法を見直し、活動の活性化に繋げる。また、これまで行ってきた壬力UPボランティア活動支援事業による団体支援や、町民活動支援センター利用者協議会を通じた団体間の連携強化などの登録団体の活動支援を継続する。さらに、みぶりんの存在と登録団体の情報を今後も未登録の団体等へ呼びかけるなどして、登録団体数の増加を図る。										
K P I	生活環境課		事業開始前 (R5.3)	R 6	R7	R 8	R 9	R10	目標値（増加分累計） (R 10.3)	R8進捗度		
コミュニティカフェ売り上げ		目標値		0千円	750千円	900千円	1,050千円	1,200千円	1,200千円（1,200千円）	努力が必要		
		実績値	0千円	－	724千円							
実績値の分析・評価		令和7年度実績（1～3月）においては概ね目標値の通りの実績となった。令和8年1月のオープンに際し周知を積極的行った結果であり、一定程度の周知を図ることができたため売上に繋がった。										
今後の取組み		イベントを開催し、これを定期化できるよう工夫することで継続的な周知を行い認知度を高め、売上に繋げる。具体的には、様々な団体が参加・協力するマルシェ形式で、季節に合わせるなど都度内容を変えることで継続的な開催をができるようなものにする。また地域のお祭りに合わせた開催にするなど、地域になじみやすいかたちで開催することにより、まずは周辺住民から認知度を上げられるよう取り組む。										
K P I	商工観光課		事業開始前 (R5.3)	R 6	R7	R 8	R 9	R10	目標値（増加分累計） (R 10.3)	R8進捗度		
チャレンジショップ出店者数（累計）		目標値		0店舗	5店舗	12店舗	19店舗	26店舗	26店舗（26店舗）	順調に推移		
		実績値	0店舗	－	1店舗							
実績値の分析・評価		チャレンジショップ第1号となる出店が令和8年1月からはじまった。出店期間を6か月延長し、1年間の出店を予定している。毎月の実績報告の提出時等、出店者と出店状況等について確認をとりながら、アドバイスや商工会等関係機関等へのつなぎを行っている。										
今後の取組み		チャレンジショップ事業について、商工会の実施する創業・経営塾の受講者など、起業を考えている人等への周知等に努めたい。 また、チャレンジショップ出店者の実際の出店に向けての支援についても商工会等と連携し、積極的に実施していく。										

【デジタル田園都市国家構想推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：MMS情報を基盤とした情報公開によるまちづくりへの活用促進事業

事業概要： 本町は、県内でも人口が集中している宇都宮市、栃木市に隣接しており、利便性の高い両市への人口流出や買い物客の流出等、まちづくりに関する近隣都市圏の影響が顕著であり、持続可能なまちづくりの推進が求められている。そこで、本事業により3次元地図データを作成し、GISによりまちづくりに関する各種地図情報と併せて一般に公開することで、地域の利便性向上や情報発信を促進し、流入人口増加につなげる。将来的には、3次元地図データと現在本町で推進している公共交通の充実や災害等との連携を強化することで、コンパクトシティ形成を促進し、持続可能なまちづくりへとつなげる。

GIS…地理情報システム：地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術

実施内容： 3次元地図データ作成、道路台帳データベース化
GISのオープン化

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	総合政策課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値 (R 8.3)	R8進捗度
オープンデータ閲覧者数		目標値	-	800回	1,000回	1,200回	1,200回	順調に推移
		実績値	-	155回	614回	1,106回		
実績値の分析・評価			公式ウェブサイトに掲載しているオープンデータについて、アクセスのしやすさを意識した導線改善と、周知強化により閲覧者数が大きく伸びた。					
今後の取組み			オープンデータの周知は今後も継続して実施していき、あわせて利用者のニーズに沿ったデータ公開を進めることで、より多くの方に活用していただけるオープンデータを目指す。					
K P I	都市計画課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値 (R 8.3)	R8進捗度
開発等の相談件数		目標値	-	20件	60件	80件	80件	順調に推移
		実績値	-	63件	84件	96件		
実績値の分析・評価			相談件数の多くは市街化調整区域のものが多かったが、六美町北部土地区画整理事業や、みぶハイウェーパークの整備等による魅力的なまちづくりの推進により、それらの効果が市街化調整区域の開発等の相談の増加にも波及したと考える。					
今後の取組み			六美町北部土地区画整理事業地内の区画道路の供用開始など住環境基盤が整いつつあることから、さらなる相談件数の増加が見込まれる。増加する開発相談に適切・丁寧に対応し町内の定住促進に繋げるため、開発許可事務担当部局と区画整理事業担当部局のさらなる連携推進を図る。					
K P I	総合政策課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値 (R 8.3)	R8進捗度
マイナンバーカード利用箇所数		目標値	-	19箇所	20箇所	21箇所	21箇所	達成見込
		実績値	-	18箇所	21箇所	23箇所		
実績値の分析・評価			マイナンバーカード利用箇所については、コンビニ20箇所、イオン1箇所、カスミ2箇所の計23箇所					
今後の取組み			マイナンバーカード利用可能箇所の増加に向けて、郵便局等の公共施設としての側面を併せ持つ設置個所の追加を含めて検討していき、住民の利便性の向上を図れるよう努めていく。					
K P I	都市計画課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値 (R 8.3)	R8進捗度
六美北部地区内の店舗件数		目標値	-	3件	5件	8件	8件	未評価
		実績値	5件	1件	1件	2件		
実績値の分析・評価			住宅専用地域の造成及び事業地区内の幹線道路となる都市計画道路及びその他の街区道路の整備に注力することとなったため、店舗建築が可能なエリアの造成が十分には実施できず、土地を用意することができなかった。					
今後の取組み			店舗建築が可能となるエリアの造成に着手していく。また、既に造成が済んでいるエリアにおいては、関係機関への情報発信等により土地活用を促していくことで、件数を伸ばして行く。					
K P I	都市計画課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値 (R 8.3)	R8進捗度
六美北部地区内の転入世帯数		目標値	-	5件	15件	25件	25件	達成見込
		実績値	-	47件	69件	104件		
実績値の分析・評価			事業地区内の幹線道路となる都市計画道路及びその他の街区道路を中心として、住宅専用地域の造成により、一定数の宅地の供給をすることができた。また、町のイベント時において、ハウスメーカーと連携して、当該エリアの情報発信を行うことができた。					
今後の取組み			引き続き宅地の造成、供給を行うとともに、ハウスメーカー等の関係機関と連携した情報発信等を実施することにより、転入世帯数を伸ばして行く。					
K P I	建設課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値 (R 8.3)	R8進捗度
公開型GISの利用満足度		目標値	-	65%	70%	75%	75%	達成見込
		実績値	-	-	54%	76%		
実績値の分析・評価			利用者にアンケート調査を行った結果、利用満足度のうち、「地図の見やすさ」や「検索のしやすさ」等の満足できた点について多数の意見があり、昨年度から22%増加することができたが、対照的に「路線番号・幅員の見にくさ」等の改善点についての意見もあったことから、改善余地も見られる。					
今後の取組み			利用者数を注視しながら、注目度の高いコンテンツの提供を目指すとともに、利用満足度から見えた課題の解決等により、事業を改善していく。					

【デジタル田園都市国家構想推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：メタバース空間「バーチャル壬生町」を活用したDXまちづくり教育

事業概要： 本町は、県内でも人口が集中している宇都宮市、栃木市に隣接しており、利便性の高い両市への人口流出や、大規模商業施設への買い物客の流出等により、まちづくりにおける近隣都市圏の影響が顕著である。また、Society5.0時代に対応した持続可能なまちづくりを行う人材育成が急務であり、そのためには学校教育において、郷土愛や地域社会への貢献意欲の育成とともに、デジタルトランスフォーメーション（以下、DX）の感覚の醸成が求められる。一方、現在は授業時数や教員の負担の関係で町の様子を見学する校外学習（以下、まち探検）の機会は限定的である。また、DXの感覚を醸成するための設備面やソフト面で課題がある。そこで、まち探検に係る様々なコストを軽減し、より多面的に町の様子を把握できるよう、3次元の仮想空間（以下、メタバース空間）に「バーチャル壬生町」を再現し、観光面、防災面、産業面、歴史的側面などから町の様子を多面的に把握可能にするとともに、メタバース空間の体験によりバーチャルとリアルの複合的な視点からまちづくりの提案活動を行い、持続可能なまちづくりのを担う人材育成を行う。

実施内容：メタバース空間「バーチャル壬生町」の構築
メタバース空間でのまち探検や防災教育、交流活動
Society5.0時代に持続可能なまちづくりの提案活動

※実施事業の効果検証のため下記K P Iを設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	学校教育課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値（増加分累計） (R 8.3)	R8進捗度
メタバース空間を活用してまち探検を実施した回数が増加した学年の割合		目標値	-	50.0%	70.0%	90.0%	90.0%	達成見込
		実績値	-	33.0%	83.0%	100.0%		
実績値の分析・評価			町教育委員会や学校管理職、学校担当者からの啓発も継続的に実施され、トータルで全ての学年が活用することができ、目標を達成することができた。3年目となることで生徒はもちろん教員側も活用が進んだものと思われる。アンケートの感想も楽しい、分かりやすいといったものが明らかに増えていると感じられ、生徒たちにとってメタバースが身近に感じられている実感がある。					
今後の取組み			上記のとおり町教育委員会をはじめとして関係者各位の努力が実り、目標値を達成できている状況であるが、今後も教職員や生徒にとって益々魅力的な空間とすることで生徒たちの積極的な活用を図っていく。今後もより幅広い場面での活用を目指したい。					
K P I	学校教育課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値（増加分累計） (R 8.3)	R8進捗度
メタバース空間を活用して他地域との交流活動を実施した回数が増加した学年の割合		目標値	-	50.0%	70.0%	90.0%	90.0%	順調に推移
		実績値	-	33.0%	83.0%	83.0%		
実績値の分析・評価			2025年度は昨年と同率となり目標値には届かない結果となってしまったが、メタバース空間の活用は進んでおり、今回は実施の無かった学年も来年度以降には必ず実施できるものと考えている。アンケートの感想でも、他の学年やクラスの意見が分かるといったものや先輩の発表を聞くことで色々な意見を学ぶことができるなどといったものがあり、他地域交流でなくともメタバース空間の特性のメリットを感じられる。					
今後の取組み			今後は当然ではあるが、早期に100%を達成するべく他地域との交流活動への活用を促していく。交流を実施した生徒からは離れたところでも色々な人と交流できるという感想が寄せられており、そのような体験を口コミのような形で広げられるような方法を考えたい。					
K P I	学校教育課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値（増加分累計） (R 8.3)	R8進捗度
メタバース空間とプロジェクターを活用したまちづくりの提案に関するプレゼンテーションの件数		目標値	-	6件	12件	60件	60件	努力が必要
		実績値	-	2件	5件	30件		
実績値の分析・評価			2024年度と比較すると件数は増加しており、生徒たちの感想にもタブレットの中で移動するだけで6個の画像と説明が聞けたといったものや、同じ空間に多数の発表ができることがすごいといったものがあり、有用性は十分に感じられている。前年度の回線の重さのせいで個人発表ができずにグループ発表となっていた点は解消されているため、今回は単純に目標値に届かなかったと推測される。					
今後の取組み			上記のとおり昨年度の件数が少ない原因であった回線の重さが解消されていることから、今後は生徒たちの操作慣れが加速することで発表数は増加するものと思われるが、町教育委員会等関係者からも更なる発表機会の創出を働きかけることで、利用を増やしていきたい。					

K P I	学校教育課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値（増加分累計） (R 8.3)	R8進捗度
地域や社会への貢献意欲、郷土愛の育成		目標値	-	52.5%	60.0%	70.0%	70.0%	達成見込
		実績値	-	52.5%	87.4%	92.0%		
実績値の分析・評価			メタバース学習の発表を見て「地域や社会のために何かしてみたいと思うか」との問いに対する回答として「自分たちで壬生町をもっと良くしたい」「自分も地域や社会のために活動したい」「上級生が課題を丁寧に調べて解決する姿が格好いい」などがあり、昨年度既に目標を上回っていたが、さらに上回る92%の結果となったことで、郷土愛の育成に寄与していると言える。					
今後の取組み			上記のとおり既に社会貢献への意欲や郷土愛の醸成は十分に高まっていると考えるが、現時点の課題である「まちづくりの提案に関するプレゼンテーション」の機会を増やすことで100%の実績となることを期待したい。					
K P I	学校教育課		事業開始前 (R5.3)	R 5	R 6	R 7	目標値（増加分累計） (R 8.3)	R8進捗度
メタバース空間の利用の満足度		目標値	-	70.0%	80.0%	90.0%	90.0%	努力が必要
		実績値	-	65.0%	68.3%	73.7%		
実績値の分析・評価			実績値については2024年度より高まっており、満足度としてはそれなりに高いと思われる。特に前回不満の要因として多く上がっていた回線の重さや音声聞き取りづらいといった意見は大きく減少しており、操作性の向上が伺える。しかしごちゃごちゃして分かりづらいといった意見も一定数見られ、目標に届かなかった要因と思われる。					
今後の取組み			今回のアンケート結果を委託事業者と共有しメタバース空間をシンプルに見せる工夫をすることや、そもそもやり方が分からないという意見もみられたため、現場での指導の方法はもちろん、子どもたちが自ら意欲的に使ってみたいと思わせるよう簡単に動くようなシステム構築を試みたい。					

【デジタル田園都市国家構想推進交付金事業効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：デジタル技術を活用した行政のデジタル化による住民サービスの向上

事業概要： 現在の対面窓口では、行政サービスを受ける際には窓口まで行かなくてはならず、高齢者や子育て中の住民のような時間や場所、行動に制約があるような住民にとっては大きな負担となっている。そこで、行政手続きの効率化を図るために、タブレット端末及びノーコードで業務のシステム化や効率化を実現するアプリを作成できるクラウドサービスを導入する。これにより、住民サービスのオンライン予約や申請が可能となり、従来よりも短期間での住民サービスの提供を実現する。また、クラウドサービスに蓄積されたデータは、本町の移住・定住施策を検討する定量的なデータとして活用を行い、根拠に基づいた行政運営による住民サービスの向上を図る。システム導入後はクラウドサービスの拡張性を活かし、R6年度に活用を見込んでいる2サービスに加え、段階的に子育て支援等の他分野へ事業展開を行い、全庁的な行政手続きのデジタル化を推進する。R6年度をアプリ開発期間と想定し、各分野へ波及できるよう全職員分のクラウドサービスのアカウントを発行する。

実施内容： オンライン予約・申請の拡大
介護認定調査のオンライン化
家屋調査のオンライン化

※実施事業の効果検証のため下記K P Iを設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	総合政策課		事業開始前 (R6.3)	R6	R7	R8	目標値(増加分累計) (R9.3)	R8進捗度
住民向けオンライン手続きの数		目標値	-	2件	11件	20件	20件	達成見込
		実績値		105件	315件			
実績値の分析・評価			これまでにサービスの導入の際に希望するほぼ全員向けの操作説明を実施したが、特にこれまで電話受付や来所による申し込みが主だった子育て関連施設に対してサポートを実施した結果、多くのフォームの作成がなされた。また、比較的年齢層が高めな方が属する団体向けの出欠確認やアンケートフォームも作られるなど、庁内に幅広く深く浸透している。					
今後の取組み			住民の利便性向上に繋がるオンライン申請手続きを増やすだけではなく、スマートフォンの操作が苦手な高齢者等に向けた教室も開催し、より多くの町民がデジタルの恩恵を受けられるよう努める。 より町民の利便性向上に繋がる手続きのデジタル化を進める。					
KPI	健康福祉課		事業開始前 (R6.3)	R6	R7	R8	目標値(増加分累計) (R9.3)	R8進捗度
調査員が勤務している1日あたりの介護認定調査件数		目標値	-	2.5件	3.5件	4.5件	4.5件	努力が必要
		実績値		2.0件	1.8件			
実績値の分析・評価			R8年度は認定調査員の交代があり、研修のため調査をできなかった期間、見習い期間として1日1件の調査だった期間があり、1日あたり調査件数は伸びなかった。また、認定調査の外部委託の導入や調査員に欠員が出たことによる、認定調査の遅れ解消のための一時的な調査員の増員により、認定調査の総数を増やすことができたが、1日あたりの調査件数については増加が抑えられた。					
今後の取組み			要介護認定者数は増加傾向にあるが、令和7年度で更新申請のピークを過ぎたため、令和8年度は申請件数が落ち着きを見せると見込まれている。タブレットによる認定調査に熟練し、調査票作成の効率化が進めば、1日あたりの調査件数も増大し、更新申請の集中や調査員の欠員等、不測の事態が生じても、認定調査の遅延を避けることができると見込まれる。					

K P I	税務課		事業開始前 (R6.3)	R 6	R 7	R 8	目標値（増加分累計） (R 9.3)	R8進捗度
固定資産税家屋調査の1日当たりの最大調査件数		目標値	-	5件	7件	8件	8件	順調に推移
		実績値		5件	6件			
実績値の分析・評価			R7年度は、全ての家屋調査をタブレットに移行し、家屋調査を行った。家屋調査アプリにより調査時間の短縮を図ることができたため、目標値である7件を達成することはできなかったが、昨年度を上回る6件を達成できた。					
今後の取組み			R8年度はタブレットを用いた調査を継続して実施し、1日あたりの調査件数を増加させる予定である。また、調査時の家屋間の移動においても、タブレットのマップ機能を有効に活用できている、タブレットを用いてより効率的な家屋調査を進めていきたい。					
K P I	総合政策課		事業開始前 (R6.3)	R 6	R 7	R 8	目標値（増加分累計） (R 9.3)	R8進捗度
住民向けオンライン手続きの利用満足度		目標値	-	60.0%	65.0%	70.0%	70.0%	達成見込
		実績値		71.0%	77.8%			
実績値の分析・評価			来庁や電話を要せずに24時間365日申請や手続きが可能になることは、町民にとって非常に有益であり、今後も推進する必要がある。					
今後の取組み			今後各種会議等で町のデジタル化への取り組みの紹介のほか、広報誌や通知・資料等に二次元コードを添付することで、多くの方が気軽に申請手続きができるよう努める。今後も引き続き、デジタルデバイド対策として、各課とも連携して高齢者向けのスマートフォン講座等を開催するほか、町民の利便性向上に資する申請手続きのデジタル化を推進する。					
K P I	健康福祉課		事業開始前 (R6.3)	R 6	R 7	R 8	目標値（増加分累計） (R 9.3)	R8進捗度
介護認定新規申請・区分変更申請から調査までの期間		目標値	-	21日間	19日間	17日間	17日間	努力が必要
		実績値		35日間	30日間			
実績値の分析・評価			認定有効期間の関係で更新申請が集中する年度であったことに加え、認定調査アプリについて、取り込み用調査票データ出力の段階で不具合があることが判明し、解決に時間を要したことで、運用開始が遅れたこと、認定調査員の欠員が出たことにより、一時期認定調査に大きな遅れが出ていたが、外部委託の導入や一時的な調査員の増員により、目標値には届かなかったものの、R6年度よりは年平均を縮めることができた。					
今後の取組み			更新申請のピークを過ぎ、申請件数自体が落ち着きを見せていることに加え、アプリの不具合解消により、本格的な運用を開始しており、調査員が操作に熟達していくにつれ、1日あたりの調査可能件数も増え、調査までの期間も短縮できていくと見込んでいる。					
K P I	税務課		事業開始前 (R6.3)	R 6	R 7	R 8	目標値（増加分累計） (R 9.3)	R8進捗度
固定資産税家屋調査の1件当たりの調査時間		目標値	-	40分	35分	30分	30分	順調に推移
		実績値		40分	35分			
実績値の分析・評価			1件当たりの調査時間は、従来、説明を含めて45分程度と想定していたが、R6年度はタブレット及びアプリの使用により5分間程度を短縮し、40分となった。さらに、令和7年度は家屋調査用アプリを使用することで現地での入力及び修正がしやすく、事前に提供してもらった図面の画像やタブレットで撮影した現地写真にタブレット用タッチペンを用いて直接情報を書き込むことで、時間短縮に繋がったことにより、35分に短縮できた。					
今後の取組み			タブレット及びアプリを用いた調査検証時には特段の事情（一度の調査棟数が多い等）がない限り、35分を超えることはなく、タブレットを用いた調査に職員も慣熟してきたため、次年度以降は更に時間短縮を図ることができると考える。					

【新しい地方経済・生活環境創生交付金【地域防災緊急整備型】効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：小学校体育館スポットエアコン設置事業(壬生小学校分)

事業概要： 災害時の避難所生活の環境を改善するため、壬生小学校にスポットエアコンを4台整備する。平時の利用について、地域の防災士による主に小学校4年生を対象とした防災教育に活用し、防災士の育成及び若い世代の防災意識の醸成を図り、将来の防災の担い手の育成に寄与する。

実施内容：壬生小学校体育館にスポットエアコン4台を設置

※実施事業の効果検証のため下記K P Iを設定しました。

重要業績評価指標 （以下、KPI）	総務課	事業開始前	R7	R8	R9	R10	R11	目標値（増加分累計）	R8進捗度
災害時の環境改善が整備される指定避難所の数		9箇所	10箇所					17箇所	順調に推移
実績値の分析・評価	壬生小学校にスポットエアコンを配置したことで避難所の環境改善が一定程度図られたが、より効果的に室温を調整できるよう施工方法を見直すこととした。								
今後の取組み	今年度から来年度にかけて町内全小学校に上記分析を反映したスポットエアコンの整備を実施し、避難所の環境改善を図る。								

【第2世代交付金 効果検証シート】

※各事業について、事業概要（一部省略）、実施内容を基に国へ交付金の申請を行いました。

事業名：Mibu Love Active ～ La chic mibuの描く道の駅～

事業概要：道の駅において、みぶ” La chic”（らしく）おもてなしできるよう、みぶブランド認定品や道の駅みぶオリジナル商品などを買うことのできる物販施設や、「壬生お殿様料理」やご当地蕎麦などを食べることのできる飲食施設、子育て世帯を引き込む機能や町の観光案内機能、イベント機能等を整備する。施設利用者の獲得、拡大を図るため、施設の目的地化や観光情報の発信を強化することで地域全体の観光消費を促進する。

実施内容：・「La chic marche」整備費用：588,215千円 ・建物外構整備費等の効果促進事業：265,189千円

※実施事業の効果検証のため下記KPIを設定しました。

重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	事業開始前 (R5)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値(増加分累計)	R8進捗度
地域における観光客入込客数		3,203,356人	111,358人					500,000人	順調に推移
実績値の分析・評価		観光客入込客数の計測ポイントである「ふるさとまつり」等の事業が天候に恵まれ、来場者数が増加したことによる影響が大きいものと考えられる。							
今後の取組み		令和7年度に完成した道の駅みぶの物販施設及び飲食施設等を活用し、観光客入込数の計測ポイントである道の駅みぶの魅力向上と情報発信の強化を図るとともに、「ふるさとまつり」などのイベントと連携した誘客を推進し、観光客入込数の増加と地域経済の活性化につなげる。							
重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	事業開始前	R7	R8	R9	R10	R11	目標値(増加分累計)	R8進捗度
la chic marche 売上高		—	—					427,454千円	未評価
実績値の分析・評価		R8年度開業のため未評価							
今後の取組み		お土産セレクトショップでは壬生町の特産品やオリジナルブランド商品をはじめ、栃木県内の人気銘菓等を取り揃えながら利用者ニーズを的確にとらえ運営に反映させていく。							
重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	事業開始前	R7	R8	R9	R10	R11	目標値(増加分累計)	R8進捗度
地域における滞在人口(休日14時)		—	2,940人					2,175人	達成見込
実績値の分析・評価		滞在比率をみると県内と他県の割合が4：6、高速道側からの利用割合が多いと思われる。							
今後の取組み		高速道と一般道の両方からアクセスできるハイウェイオアシスとして、施設の魅力を発信し、更なる利用者数増を図っていく。							
重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	事業開始前	R7	R8	R9	R10	R11	目標値(増加分累計)	R8進捗度
道の駅みぶ - みぶハイウェーパークWEBサイト表示		—	190000回(参考)					21,283回	未評価
実績値の分析・評価		運営主体が変わり、サイト更新がうまくできていなかったことは反省点。							
今後の取組み		R8年4月の新商業棟開業に合わせ、webサイトをリニューアル。今後、施設の目的地化に向け、情報発信を強化していく。							
重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	事業開始前	R7	R8	R9	R10	R11	目標値(増加分累計)	R8進捗度
道の駅みぶ - みぶハイウェーパーク施設利用者数		1,973,528人	-16,511人					547,000人	努力が必要
実績値の分析・評価		R8年4月の新商業棟開業に向けたリニューアル工事等の影響で来訪者数は昨年より若干減少に転じた。							
今後の取組み		R8年4月の新商業棟開業による新規利用者の獲得や拡大を図るため、情報発信をはじめとするPR活動を強化し、「日本一広い道の駅」として施設の目的地を進めていく。							
重要業績評価指標 (以下、KPI)	商工観光課	事業開始前 (R5)	R7	R8	R9	R10	R11	目標値(増加分累計)	R8進捗度
地域ブランド品目認定数		37品	-3品					20品	努力が必要
実績値の分析・評価		認定数の減少は、原材料確保（とちおとめなどの農産物）が困難となったことや、通年を通じた商品の安定供給が難しく販売数が減少したことから、事業者による認定辞退があったためである。							
今後の取組み		道の駅みぶの物販施設を活用したみぶブランド認定品の販売・PRを強化するとともに、新たな認定品の発掘や事業者支援を進め、地域ブランドの充実と販路拡大を図る。							